

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
直腸癌 術前カペシタビン+放射線療法		7日	□なし ■あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1-5	① カペシタビン錠 1650mg/m ² /日 1日2回朝夕食後 体表面積にあわせて以下の投与量を経口投与する。 1.31m ² 未満:1800mg/日 1.31m ² 以上1.64m ² 未満:2400mg/日 1.64m ² 以上:3000mg/日		
コメント			

プロトコールに関する解説

本療法は、局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法として有効性が示されている治療法です。臨床試験により、本療法はこれまでの標準治療(5FU 点滴静注療法+放射線療法)と比較して、癌局所制御率が同等であり、グレード3以上の下痢の副作用の発生率はいずれも11.7%で同等でありました。その他、手のひらや足の裏にひび割れや水ぶくれ、痛みが出たり、吐き気や食欲不振などの副作用が出たりすることがあります。副作用が強い場合は、減量、減薬や休薬などの調整が必要になることがあります。